単元:文章を読んで自身と照らし合わせる
評価問題:筆者の旅路と、体験から感じたことをワークシートに書き込む　読むことイ
評価規準:地名と筆者の経験、そこから感じたことをおさえられている。

「十六歳のとき」星野道夫　授業プリント

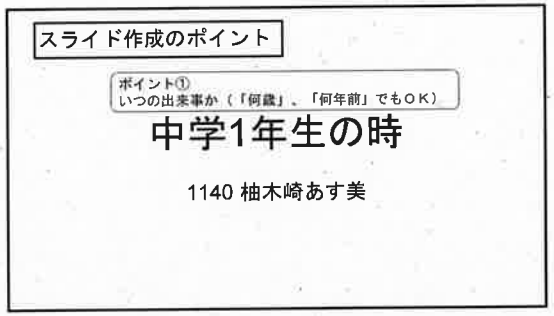
（　）ＨＲ（　）番　氏名（　　）

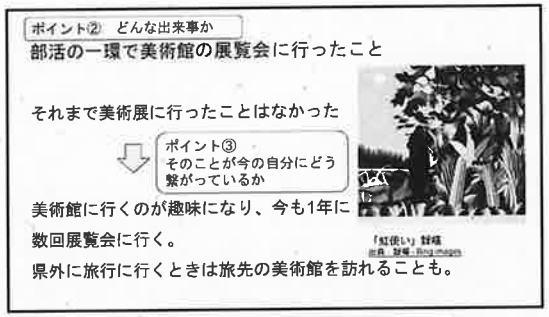
第三段落	第二段落	第一段落
	旅にかけた期間…… 	多くの選択肢があったはずなのに、（　　）
相対化（読：　　）	**意気揚々**（読：　　） **場末**（読：　　） 都市や繁華街の中心から離れた場所。 **混沌**（読：　　） **つかの間**（読：　　） **甲板**（読：　　） 船舶の上部にある広く平らな床。デッキ。	**岐路**（読：　　） **皮膜**（読：　　） 皮と膜

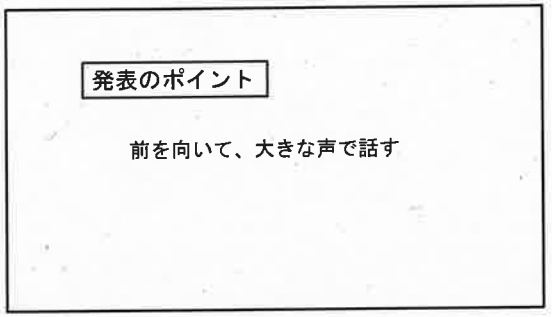
単元:文章を読んで自身と照らし合わせる　　2022/9/13

評価問題:自分にとっての選択と岐路についてスライドにまとめ、発表する。　話すこと聞くこと　ア

評価規準:「いつ」「どんな出来事」が「どう今の自分に繋がっているか」をおさえている。







これから、私のターニングポイントについて発表を始めます。

ポイント①　私のターニングポイントは、中学1年生のときに

ポイント②　部活の一環で美術館に行ったことです。私はそれまで美術館に行った事はなく、この時が初めての展覧会でした。この事がきっかけで私は美術鑑賞に興味を持ち、

ポイント③　美術館に行くことが趣味になりました。今では旅行に行った時に、旅先の美術館を訪れることもあります。

以上で発表を終わります。

現代の国語　言葉が開く世界　清水由美「言葉の海のオノマトペ」　評価問題

授業内課題　問1～2：読むことイ

活動1　班で「ぽさり／ぽさん／ぽさぽさ／ぽっさり／ぽさっ／ぽさー」のうちの一つについてその使用例や表現している状況、オノマトペが持つ印象を話し合ってみよう。（授業者が各班に担当するオノマトペを割り当てる）

活動2　自分の班のオノマトペを、他の班のオノマトペと比較し、オノマトペ同士が持つ印象に共通点や相違点があるかさがしてみよう。

定期テスト　問1～4：読むことイ　問5：書くことウ

問1　「言語記号の恣意性」とはどういうものか、「～ということ。」に続くように本文中から三十五字で抜き出しなさい。

問2　「恣意性」と対比的に使われている言葉を、本文中から三字で抜き出しなさい。

問3　「小さな点々の有無がもたらす違いは小さくありません」とあるが、それがどのようなことかを四人の生徒が話し合っている。本文の趣旨に合うものを次から選び記号で答えなさい。

ア　生徒A　違いは小さくありませんと筆者は言っているね。それは、濁点がないと別の品詞になってしまうということじゃないかな。

イ　生徒B　私は発音の違いだと思うな。だから、濁点は、擬態語でも発音の違いを表すものとして大きな存在であるということだと思う。

ウ　生徒C　でも、筆者は感覚の話を直前でしているよ。たとえ小さな点々でも濁点の有無によって、語の感じが大きく異なるということだと僕は考えたよ。

エ　生徒D　僕は表記という部分に注目したよ。濁点は小さいけれども、それがあることによって、力強い表現に見えるという意味だと感じた。

問4　本文中に述べられている内容として適当なものを次から選び記号で答えなさい。

ア　「痛い」という言葉は、人間が感じる痛覚をもとにして作られた。

イ　外国語を学習するときは、その言葉が表すイメージを手がかりに覚えればよい。

ウ　オノマトペの音質や長さはその言葉が表す意味と対応しているという特徴がある。

エ　オノマトペは他の言葉とは違い音をまねしたものなので、恣意性を持つことはない。

問5　次の漫画の空欄Aに入るオノマトペを一つ答え、なぜその言葉（音）を選んだのか、本文の内容を踏まえて理由を説明しなさい。

問5の評価規準

・「どのような状況・様態を表現したいのか」、「それを表現するのにどの言葉（音）が適切か」を説明している。

堀越耕平『僕のヒーローアカデミア』集英社